

# 22 医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院

## 病院の概要

- **医師数 (研修医除く)** 244 名 (うち指導医数 107 名)
- **病床数** 733
- **研修医数** 1 年目 18 名 2 年目 19 名
- **昨年度マッチング受検者数** 82 名
- **研修医の主な出身大学** 北海道大学、旭川医科大学、札幌医科大学、弘前大学、秋田大学、岩手医科大学、山形大学、東北大学、福島県立医科大学、東京医科歯科大学、東京医科大学、東京女子医科大学、日本医科大学、東京慈恵会医科大学、東邦大学、帝京大学、順天堂大学、杏林大学、日本大学、昭和大学、埼玉医科大学、獨協医科大学、聖マリアンナ医科大学、国際医療福祉大学、北里大学、東海大学、群馬大学、山梨大学、筑波大学、新潟大学、金沢大学、富山大学、福井大学、浜松医科大学、名古屋大学、名古屋立大学、信州大学、藤田保健衛生大学、近畿大学、滋賀医科大学、三重大学、川崎医科大学、島根大学、徳島大学、産業医科大学、大分大学、熊本大学、佐賀大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学、漢陽大学、Shahid Beheshti University
- **診療科** 内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、糖尿病内科、膠原病内科、腎臓内科、血液器内科、呼吸器内科、呼吸器腫瘍内科、肝臓内科、アレルギー疾患内科、感染症内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、心療内科、小児科、産婦人科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、肝臓外科、乳腺外科、呼吸器外科、気管食道外科、肛門外科、内視鏡外科、小児外科、泌尿器科、女性泌尿器科、耳鼻いんご科、頭頸部外科、眼科、形成外科、美容外科、皮膚科、麻酔科、救急科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、総合診療科 (院内標榜)、皮膚泌尿科 (院内標榜)
- **1 日平均外来患者数** 1,389 名
- **1 日平均入院患者数** 596.7 名
- **主な認定施設** 地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院、ロボット心臓手術実施施設、ダヴィンチ手術症例見学施設 (前立腺摘出術、膀胱全摘除術、ロボット支援下膵臓十二指腸切除術、ロボット支援下膀胱体部切除術)、埼玉 DMAT 指定病院、他



## 研修プログラムの特色

今後数十年の医師としての人生を歩んで行くことをふまえ、医師としてのプロフェッショナリズムに多角的な視点で気づくこと、そしてそれを自分のものとするを主眼としたプログラムです。そのため総合診療科研修、救急科研修 & 当直研修・地域医療研修を3本の柱とし、自ら責任をもって医療を行う姿勢を重視しています。総合診療科では主治医と同等の立場で診療を行うことで、医師の責任の重さや判断の難しさを学びます。救急科・当直研修では2年間におけるファーストタッチを行い、どのような状況であっても冷静かつ適切に判断する力を磨いていきます。地域医療研修を北海道・岡山県・鹿児島県などで行うべき地・難島研修としていることは本院の研修の特にユニークな点です。地域の医療ニーズ、訪問診療などの地域に密着した医療、医療資源の少ない地域での医療の特徴を学び、さらに異なる環境での研修を通じ医師としての自信を深めるチャンスとなります。

プログラム例	上尾中央総合病院臨床研修プログラム (募集定員 19 名)											
	1~4 週	5~8 週	9~12 週	13~16 週	17~20 週	21~24 週	25~28 週	29~32 週	33~36 週	37~40 週	41~44 週	45~48 週
1 年目	内科系 (糖尿病内科・血液内科・消化器内科・循環器内科・脳神経内科・腎臓内科・腫瘍内科・総合診療科) から2科以上選択 ※総合診療科は12 週必修 (24 週)						救急部門 (12 週)			麻酔科 (8 週)		外科 (4 週)
2 年目	外科 (4 週)	小児科 (4 週)	産婦人科 (4 週)	地域医療 (4 週)	精神科 (4 週)※2	選択期間 (24 週~28 週)						

- 必修:** 内科系 24 週、救急科 12 週、麻酔科 8 週、外科 8 週、小児科 4 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週
- 選択:** 24 週~28 週 糖尿病内科、血液内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻いんご科、麻酔科、放射線診断科、臨床検査科、救急科、病理診断科、地域研修
- ※ 当院で決めた必須科目の外科については、4 週は外科を必須として 4 週については外科系 (外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻いんご科、泌尿器科) の中から選択できることとする。
- ※1 地域研修は必修 4 週、選択 4 週まで (合計 8 週選択可能)
- ※2 精神科研修は埼玉県立精神医療センター・帝京大学医学部附属病院で実施する。

## 研修医の処遇

- 給 与** 1 年次: 40 万円/月 2 年次: 43 万円/月
- 諸 手 当** 当直手当、日勤手当
- 保 険** 埼玉県医師会健康保険組合 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険適用  
厚生年金基金等企業年金あり 医師賠償責任保険 (病院において加入)
- 勤務時間** 9 時~17 時 30 分
- 当 直** あり (4 回程度/月)
- 休 暇** 有給休暇 (1 年次: 10 日、2 年次: 11 日)  
その他 (特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業)
- 宿 舎** あり: 当院規定 (5 万円を上限として、家賃半分を支給する※上尾市内内在住限定)
- そ の 他** 処遇: 常勤、健康診断: 年 2 回、医師賠償責任保険: 病院において加入・個人加入は任意、学会・研究会等への参加: 可、参加費用支給有、医療費見舞金制度、24 時間保育園、保養所 (軽井沢/那須/熱海)、院内旅行、その他

## 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉県立精神医療センター
- ・医療法人 徳洲会 徳之島徳洲会病院
- ・医療法人 徳洲会 日高徳洲会病院
- ・医療法人 徳洲会 帯広徳洲会病院
- ・医療法人 徳洲会 与論徳洲会病院
- ・医療法人 徳洲会 石垣島徳洲会病院
- ・社会医療法人 緑社会 金田病院
- ・小豆島中央病院
- ・社会医療法人 哲西会 哲西診療所
- ・市立輪島病院 他

## 当院の魅力

### 『自立』『責任』『信頼』

当院の初期臨床研修のキーワードです。医師としての基盤となる3つの資質を身につけ、伸ばすことを約束するプログラムです。  
『自立』 救急外来では年間約 7,600 台の救急車を研修医たちがファーストタッチで扱います。指導医は裏方の役に徹し、研修医がまさしく自分自身の力で診療する能力を養います。  
『責任』 総合診療科研修ではほぼ主治医に匹敵する仕事を任せられます。治療方針の決定や IC も研修医の仕事です。甘えは許されません。  
『信頼』 地域医療研修では自ら外来枠をもちます。患者さんひとりひとりと密接な関係性を構築することが求められます。  
◎「ほどほど」「そこそこ」という研修を求めています。「徹底的に」学んでください。サポートもしっかり行います。  
臨床研修管理委員会は別に臨床研修指導者委員会を設置し、5~10 年目の若手医師、看護師、メディカルスタッフが 研修医ひとりひとりに目を向けて研修の様子をいつも見守っています。



## 研修責任者からメッセージ



黒沢 祥浩  
プログラム責任者

当院の研修医たちのゴールは「たくましさ」です。未来の自分が、どのような苦境にも負けることなく、周囲からの信頼を得て医療を遂行するためのスキルです。そして、それは生涯にわたって彼らを助けてくれることによろ。

私たちが指導医は彼らの「たくましさ」の獲得を援助します。「自ら考え行動する」という研修医の姿勢を見守り、ときに手を差し伸べるのが私たちの大切な役割です。研修医たちはもがきながら多くを学び、成長し、そして答えをみつけたときに達成感と明日へのモチベーションが生まれていきます。救急科研修でくじかれ、総合診療科研修で悩み、軽傷へさげ総合診療科研修で学び、軽傷へさげ総合診療科研修で新たな発見をしていく。ダイナミックな研修プログラムです。

## 先輩研修医からメッセージ



中原 英里  
研修医 1 年目

研修医生活が始まって数か月、あんなに医者になることを夢見ていたのに、どうやら現実とは異なるようです。一時的な苦悩のみである土曜日はさかさまに仕事があるし、日曜日も勤務が入れば元気に出勤です。大好きな旅行もなかなか行けないし、なんともそぞろそぞろ後悔してました。もしかしてお金持ちになれるの？という強い期待は打ち砕かれます。行かないジムやゴルフスクールの会費の支払いに追われ、電気代ガス代も毎月支払いがあることに驚きはありません (筆者は学生時代実家から通っていた)。病院と宿舎を早足で移動し、ポカンを押しても全然こないエレベーターが待てる、10 階まで駆け上っていたらジムなしで大脱走と脱走が続きました。ジムもないじゃん! ということで昨日、ついに解禁。ここまで読んで、メリットがないと思った経営、私も当初同じことを感じていました。でもなぜでしょう、日々が楽しいのです。察されて早いときに同期が話を聞いてくれること、先輩が「俺なんて、もったいなくてあつたよ」と笑い話に変えて話してくれること、「どうあつてもうんちを食って行くこと」とこぼれ話してくれること、「それは 2023 年のガイドラインで改訂されたから」と最新の知識を教えてくれること、と思えば「カルテを早く書く!!!!」とせつかな先輩、そんな仲間が各学年 19 人ずついることが原動力になります。まだまだ学ぶべきことに遭遇されていて、助けられてばかりの毎日です。周囲の人の感謝を心に刻みつつ、目の前のことに全力で取り組むことの大切さを日々再確認されます。また、研修医第 1 年目にさらにフレッシュアップした私に感謝ください!



岩崎 賢明  
研修医 1 年目

「上尾ってハイバーですね?」研修が始まって数か月、見学に来た学生に何度も聞かれたセリフです。正確なところは、私も最近まで皆さんと同じように感じていました。4 月 7 日から当直に入り、土曜も出勤し、おまけに当直医には「君が初年度にあたることを患者さんにとってのリスクじゃない?」と怒られる始末…。誰かが当直の研修は初期研修医が率先して初年度にあたることも多く、求められるレベルは決して低くないと感じています。ただハイバーとは違うと毎週見学生に質問されるたびに思います。当直明けのめんどろは連発され、飲み会やスポーツでハイパーできる機会も多く、午後 7 時の研修医室はほとんど人がいません。ではなぜそのようなイメージがあるのか。それはハイパリティ溢れる医師が多いからだと感じています。これまでにお会いしただけでも、第 5 年のホストから 1 日をスタートさせる医師や、歩くガイドラインのような医師、海外で臨床、研究を行ってきた医師など、そのような先輩医師に疑問をぶつければとっさと分かちあせると、成長させようと熱く指導してください。それがハイバーに感じるかもしれません。けど覚えてみてください。臨床がすれば、ある程度 1 年目が成長したと思ったらまた 4 月に右も左も分からない新人が入ってくる。その新人にうんざりせずに何度も高いハイパリティをぶつけてくれる。当たり前のことではないと思います。そして全国 20 以上の大学から集まった性質かな同期と先輩方。皆外なく向上が書いています。私は比較的多様な課題に身を置いては居ましたが、また今までと違った課題に刺激される毎日を感じています。各人の話を聞くのが好きです。これは当院の魅力の一つだと思います。この 3 か月、院に当直は度々もありました。しかし、分らないことを先輩に聞けるのは初期研修医の特権です。それを了解してくれる素晴らしい環境で、初年研修の 2 年間出来る限りぶつかり、楽しみ、医師としての基盤を築いていきたいと思います。

## 女性医師支援コーナー

当院では、女性医師の働きやすい環境を整えるため、以下の規定があり、ひとりひとりの研修医にそれぞれの働きやすい環境を提供できるようにサポートします。

- ・妊産婦への配慮一
- 【妊娠中】 母体保護の観点から、妊婦中の研修医は原則として当直研修を行わない。ただし、本人より当直以外の時間外勤務の希望があれば臨床研修センター長 および救急科責任者との面談・調整の上、土曜日の午後や日曜日の日中等に研修を行っても良いこととする。
- 【育児中】 育児中の当直は研修医および児の状況を勘案し、臨床研修センター長および救急科責任者との面談・調整の上、当直研修実施の有無および回数を決することとする。
- ・短時間勤務制度・院内保育の設置・当直免除 ※実績あり。現在も当院で勤務しています。



## 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【見学】 ホームページ上の初期臨床研修、見学申し込みフォームよりお申込みください。

- 連絡先** 上尾中央総合病院 人事課 秘書係 (臨床研修担当)
- 住 所** 〒362-8588 埼玉県上尾市柏座 1-10-10
- T E L** 048-773-1111 (代表)
- F A X** 048-773-2952
- E-mail** ishi\_jinji@achor.jp
- U R L** http://www.achor.jp
- アクセス** JR 高崎線 上尾駅西口より徒歩 3 分

